

ヨコハマ・フットボール映画祭2022



ヨコハマ・フットボール映画祭

会 期：2022年6月4日（土）～10日（金）  
 会 場：かなっくホール／シネマ・ジャック&ベティ  
 主 催：（特非）横浜スポーツコミュニケーションズ／ヨコハマ・フットボール映画祭実行委員会  
 後 援：横浜市市民局／（公財）日本サッカー協会／ドイツ連邦共和国大使館／（公財）日独協会／日英協会／  
 在日スイス大使館／スウェーデン大使館／メキシコ大使館／インテルクラブ・ジャポネ  
 対 象：サッカーファン、映画ファン  
 公式サイト URL：https://yfff.org/yfff2022

- ◆総来場者数（参加数）：2,000人 昨年対比 100% UP
- ◆出展社数：15社  
 内訳：（国内出展社数：15社 海外出展社数：0社）

■開催内容

Jリーグの人気クラブのドキュメンタリー『ONE FOUR KENGO THE MOVIE 憲剛とフロンターレ 偶然を必然に変えた、18年の物語』では、元サッカー日本代表の中村憲剛氏、前Jリーグチェアマン村井満氏が登壇し撮影の裏話などを語った。

また、イギリス映画『Brothers in Football -100年越しの再試合-』では、クリス・ワトニー監督が来日し、観客とのQ&Aも盛り上がった。

そのほか『パモス!ドミンゴ-夢の実況席-』では声優の今井麻夏氏、『ある試合』では元国際審判家本政明氏、『サンシーロの陰で』ではスポーツメンタルアドバイザー木村好珠氏、『はなれていても』ではドイツ在住コーチ中野吉之伴氏、『アディダスVS ブーマー-運命を分けた兄弟-』ではスパイクマイスターKohei氏、『ペルーの叫び〜36年ぶりW杯出場の表と裏〜』では日系ペルー人タレントのカルロス上村氏が登壇し、作品の背景などを解説した。

トークイベントでは、2002年のFIFAワールドカップ日韓大会から20周年を記念して、当時のサッカー日本代表監督のフィリップ・トルシエ氏が登壇し、思い出話や年末のカタールワールドカップでの日本代表の展望をタレントの笹木かおり氏と宇都宮徹彦氏と語った。他に実況アナウンサー倉敷保雄氏、西岡明彦氏の対談イベント（司会 今井麻夏氏）、大学時代の三笠薫選手を指導した筑波大学蹴球部監督の小井土正亮氏とサッカーライター土屋雅史氏のトークイベント、サッカーを楽しむためのフリーペーパーを発行するサポーターが集いそのノウハウを語りあうパネルディスカッションを実施した。

フットボールエキスポにはサッカーをテーマにした金箔工芸品など14ブースが出展された。

映画祭に先駆けて行われた審査会の結果、下記の通りYFFFアワード2022が決定した。

- グランプリ 『はなれていても』 ザラ・ヴィンケンシュテット監督
- 審査員特別賞 『サンシーロの陰で』 ロニー・サンダー監督
- ベストプレイヤー賞 中村憲剛『ONE FOUR KENGO THE MOVIE 憲剛とフロンターレ 偶然を必然に変えた、18年の物語』
- ベストクラブ賞 コリンシアン・カジュアルズFC  
『Brothers in Football -100年越しの再試合-』
- ベストサポーター賞 ロヘリオ少年と村の人々『パモス!ドミンゴ-夢の実況席-』

YFFFアワード2022 審査員

- 有坂壘 移動映画館 キノ・イグルー
- 中村和彦 映画監督（『蹴る』、『プライドinブルー』など）
- 藤坂ガルシア千鶴 ライター「ディエゴを探して」など

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

- ・地元企業の横浜ワイナリー社とのコラボレーションによりオリジナルワインを製作し、会場販売を行ったところ、完売できた。
- ・メディアパートナーであるLIVE BOARD社とのコラボレーションにより、東京メトロ南北線、埼玉高速鉄道、新横浜駅前ボードなどに、映画祭の告知動画を配信し、PRとした。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

- ・神奈川県の子ニシアター7館と共同で期間限定割引キャンペーン『学生応援プライス500』を実施。地元の学校にチラシを配布し、若年層の開拓を行った。

